

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3F

TEL (086) 214-3911

2020年2月号 No.343

E-mail:kikanshi@okayama-min-iren.org

URL:http://www.okayama-min-iren.org



2020年「3.11への祈り」おかやま
追悼と脱原発のつどい

日時：3月8日（日）

13時30分～16時頃

メインゲスト：おしどりマコ・ケン

会場：岡山パブテスト教会

（岡山市北区田町1-7-28）

内容：トーク&ライブ 追悼会

夕方より 「およなら原発ウォーク」



羽原さんの講義に熱心に耳を傾ける参加者

平和の大切さを 次の世代に

～県連初期事務職員研修～

入職3年目までの事務職員を対象とした県連初期事務職員研修を1月18～19日林病院ひまわりホールにて開催しました。

初めのオリ

エンターシヨ

ンでは、アメ

リカによる空爆下の

アフガニスタンで医

療活動され、昨年銃

撃により亡くなられ

た中村哲さんに触れ

ました。医療従事者

の視点を深め、平和

への道を示した経験

を受け継いでいき

たという思いから

です。

1日目は、岡山空

襲について「岡山

戦争と戦災を記録

する会」代表の羽原



「禁酒会館」をフィールドワーク

活者の視点が遠く離

れたものであること

を実感しました。ま

た、「逃げずに消火

にあたれ」との国

から国民への指示も衝

撃でした。

2日目には、岡

山城周辺に遺る岡

山空襲の跡を徒歩で

フィールドワークし

ました。岡山神社の

焼け崩れた石灯籠、

旧内山下小学校や禁

酒会館など焼け残っ

た施設：そして岡山

城では空襲で焼け焦

層の思考と私たち生

富家朱代

（岡山中央病院）



グループに分かれて活発な討議が行われました

（県連教育委員会）

風早和広

社保平和活動の

担い手誕生を感じ

る研修となりました。

関心を持ち自分

自身、何ができ

るかを考え行動し

たい。「選挙に行

く」「署名活動

など積極的な感

想が多く寄せられ

ました。

だっただが、もっ

と行動しよう。」

と力強い提

言もいただきました。

「沖

縄の現状を具体的

に知ることができ

ました。今まで無関

心

だったことが、も

っと

関心を持ち自分

自身、何ができ

るかを考え行動し

たい。「選挙に行

く」「署名活動

など積極的な感

想が多く寄せられ

ました。

だっただが、もっ

と行動しよう。」

と力強い提

言もいただきました。

「沖

縄の現状を具体的

に知ることができ

ました。今まで無関

心

だったことが、も

っと

関心を持ち自分

自身、何ができ

るかを考え行動し

たい。「選挙に行

く」「署名活動

など積極的な感

想が多く寄せられ

ました。

点 滴

新しい年が始まり「幸せな一年となりますように」と、幸多きことを願った文面の年賀状が今年も多く届いた。幸せにより良く生きたいと思うと同時に、よりよく仕事をしたいと考える。同じ時間をかけて働くなら、気持ちよく働きたいと思う。▼勝原裕美子氏の著書に、認知心理学、社会心理学者、発達心理学者の共同プロジェクト「Good Workプロジェクト」と彼らが出版した著書についての紹介がある。▼100人以上のジャーナリストと100人以上の遺伝学者との長いインタビューから得られた調査結果に焦点を当てて書かれたものである。著者は、この2つの職業からの教訓を、私たちの仕事の生活のすべてに適用し、品質に優れ、倫理的に責任ある方法で行われる仕事をもたす方法を示している。▼良い仕事は卓越さと倫理が出会う時となることと書かれてある。よい仕事にはその仕事を上での卓越性だけではなく、それと同じくらいの倫理性も必要だということ。つまり、いくら卓越した技能や知識を持っていてもそこにも倫理性が伴わなければ、よい仕事とは言えないといっている。▼職業柄、倫理から逃れることはできないし倫理は私たちとともにある。年がかり新たな任務を付与され、新たな役割を前にもがく人たちがいると思う。かつての自分がそうであったように。しかし、患者さんとのやりとり、スタッフとの話し合い、他職種との交渉といった現場での日々の出来事こそが、自身を成長させてくれる。本当に大事な特別な研修ではなく、その日々の出来事、立ち止まって考え迷いながらも対処していくその積み重ねにあるのだらうと確信した。(上)



講師の仲程太一さん

平和と人権について 考えよう ～県連6年目職員研修～

1月30日に「県連6年目職員研修」が行われました。

研修の目標は、憲法の学びと沖縄の実状から平和と人権について考え、自らの課題として民医連諸活動に参加できるようにする等、

県連の28の事業所から74人が参加しました。活動を身近に感じてもらうために、

研修受講者に近い青年職員を講師にと依頼し、那覇民

主診療所の仲程理学療法士に来ていただきました。「沖縄の現状を知り、民医連の活動について考える」と題して、米軍統治から日本政府の支配へ、繰り返される海兵隊による悲劇、させ放題の日本政府、伸び続ける防衛費などを題材に、沖縄の過去から現在に至るた

たの歴史と、今後のたたかひについて講演いただきました。「勝つ方法はあきらめないこと」、「関心を持ち、学び、考え、話し合い、行動しよう。」と力強い提言もいただきました。「沖縄の現状を具体的に知ることができた。今まで無関心

だったことが、もっと関心を持ち自分自身、何ができるかを考え行動したい。「選挙に行く」「署名活動をする」など積極的な感想が多く寄せられました。

社保平和活動の担い手誕生を感じ

る研修となりました。

関心を持ち自分

自身、何ができ

るかを考え行動し

たい。「選挙に行

く」「署名活動

など積極的な感

想が多く寄せられ

ました。



学生さんと一緒に サポセン恒例餅つき大会

※ 医系学生サポートセンターでは、医系学生向けに色々な企画を行っています。1月8日には、杵と石臼を使っての餅つきを行いました。参加した学生さんの中には始めて餅つきをする学生さんも居り、お餅をついたり、切ったり、丸めたりを楽しみながら行っていました。非力な学生さんも多いので、最後は筋肉自慢の職員が、力を込めて仕上げでつき上げ、やわらかい美味しいお餅が出来ました。ついたお餅は即座に、さなこや大根おろし、あん

こやぜんざいにと様々な形で、満腹になるまで堪能しました。今後も、サポートセンターでは、学生さんの要求や要望を聞きながら様々な学習やイベントを準備して、盛り上げていきます。みなさん、ご協力お願いします。(医系学生サポートセンター)

※ 医系学生のみなさんが日常的に活用できる場。実習や大学生活の相談にのれるように岡山大学鹿田キャンパスの近くにサポートセンターを開設しています。



介護・福祉の相談コーナー (岡山中央福祉会)

1月26日西大寺緑花公園百花プラザにて第18回言いたい知りたい西大寺が開催され約500人の市民が参加しました。東区にあるいろいろな事業所があつまり安心して暮らせる地域づくりにと2002年6月から行われています。

今年のテーマは「みんなの学びをみんなで支えよう」。ステージでは、地域のこどもたちのダンスや岡山県初の「義務教育学校」開校予定山南中学校生徒会からの発表などがあり

多世代交流のまちづくり福祉編として子どもからお年寄りまで参加できる体験型介護体験や福祉器具紹介、介護相談を岡山中央福祉会が、血圧・体脂肪、骨密度測定などの健康チェック、健康相談、フレイルチェックを岡山医療生協が行いました。

繁田真理子
(こーぷ西大寺診療所)

安心して暮らせる地域づくり 言いたい知りたい西大寺



ました。また会場にある各ブースでは、子供遊びコーナー、活動パネル展、絵本の読み聞かせ、学校給食の試食など様々。



健康チェック・フレイルチェック (岡山医療生協)

お知らせ

県連機関紙委員会では、読者のみなさんから「おかやま民医連」へのご意見やご感想をお待ちしております。また、「紹介したい人」や「紹介したいこと」など情報の提供もよろしくお願いします。

(県連事務局 まで)

食いしん坊が行く!



岡山市中心部の歴史ある洋食屋さん有名なメニューがあります。この大盛りどころではないほどの迫力、例えるならカレー界のエベレストです。私は昔からカツカレーが好物で、いつかは山盛りで食べたいとずっと思っていました。自分で作っても生煮えの料理未満の物体になってしまうので、レトルトカレーと惣菜のカツで代用しましたがイマイチでした。しかしさすがは洋食屋、本格的な味付けで飽き

が来ません。マイルドであたかもシチューのような深いコクとともに、鼻腔を突き抜けるさわやかなミントの香り。第一印象が覆る衝撃の一品でした。

原田康暉
(岡山医療生活協同組合)



老舗洋食屋さんのカツカレー

読者カードより

全国青年ジャンボリーの報告を読み、若い世代が元気が良いことは、組織のエネルギー源になると思います。

新年の抱負に登場している、若手医師にも大いに期待しています。ともに頑張ります。

(MY・林精神医学研究所)